

平成28年（2016年）鳥取県中部を震源とする地震に係る被害状況等について

※これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。

平成28年10月22日
12時00分現在
内閣府

1 地震の概要（気象庁情報）

(1) 発生日時

・平成28年10月21日 14:07

(2) 震源地（震源の深さ）及び地震の規模

・場所：鳥取県中部（北緯35.4度、東経133.9度） 深さ11km（暫定値）
・規模：マグニチュード6.6（暫定値）

(3) 各地の震度（震度5弱以上）

震度6弱 鳥取県： 倉吉市葵町*、湯梨浜町龍島*、北栄町土下*
震度5強 鳥取県： 鳥取市鹿野町鹿野小学校*、鳥取市鹿野町鹿野*、鳥取市青谷町青谷*、三朝町大瀬*、湯梨浜町久留*、北栄町由良宿*
岡山県： 鏡野町上齋原*、真庭市蒜山下福田*
震度5弱 鳥取県： 鳥取市吉方、鳥取市気高町浜村*、倉吉市岩倉長峯、倉吉市関金町大鳥居*、琴浦町赤碓中学校*、琴浦町赤碓*、琴浦町徳万*、日吉津村日吉津*
岡山県： 真庭市禾津*、真庭市蒜山下和*、真庭市蒜山上福田*
島根県： 隠岐の島町城北町*

(4) 津波

この地震による津波のおそれはなし。

(5) 地震活動の状況

・10月22日12時現在、震度1以上を観測する地震が145回発生
（震度6弱：1回、震度4：6回、震度3：20回、震度2：39回、震度1：79回）
※地震回数は速報値で、後日の調査で変更になることがあります。

2 人的・物的被害の状況（消防庁情報：10月22日11:30現在）

都道府県名	人的被害				住家被害					非住家被害	
	死者	行方不明者	負傷者		全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	公共建物	その他
			重傷	軽傷							
人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	
兵庫県				3							
鳥取県			1	14	3	1	161				
岡山県			1	2			13				
合計			2	19	3	1	174				

《重傷者の状況》

【鳥取県】境港市の小学校において男児が避難中に転倒し、右手親指亀裂骨折

【岡山県】岡山市において70歳代女性が転倒し、大腿部骨折

《住家被害の状況》

【鳥取県】全壊3棟については、全て北栄町内
上記のほか多数の建物被害の情報あり（確認中）

3 避難の状況（消防庁情報：集計日時 10月22日7時00分）

都道府県名	市区町村名	避難所数	避難者数
鳥取県	鳥取市	2	3
	倉吉市	18	1,921
	三朝町	9	369
	湯梨浜町	11	345
	琴浦町	2	37
	北栄町	4	187
合 計		46	2,862

4 その他の状況

(1) ライフラインの状況

ア 電力（経済産業省情報：10月22日11:00現在）

停電解消（21日17:38）

- ・のべ停電戸数：約77,100戸
- ・最大停電戸数：約76,000戸（21日14:08分）
- ・主な停電地域：鳥取県 倉吉市、東伯郡、岡山県、新見市

イ 一般ガス（経済産業省情報：10月22日11:00現在）

（ア）都市ガス
被害なし

ウ 水道（厚生労働省情報：10月22日11:00現在）

（ア）断水：1県2市町（16,038戸）

※被害報告のあった地域を記載

市町村名	最大断水戸数	現在の断水戸数	断水期間	被害状況
【鳥取県】 倉吉市 （くらよしし）	※1 約16,000戸	※1 約16,000戸 （水圧低下の影響を受けている戸数を含む）	10/21～	水道局の入る庁舎天井が崩落 緊急遮断弁作動による断水 配水池出口のバルブの開度を調整し通水済み
湯梨浜町 （ゆりはまちょう）	54戸	38戸	10/21～	漏水を確認 管路破損による断水 濁水が発生
北栄町 （ほくえいちょう）	5戸	0戸	10/21～22	漏水を確認 管路破損による断水（復旧済み） 濁水が発生
鳥取市 （とっとりし）	50戸	0戸	10/21	漏水を確認 管路破損による断水（復旧済み）
琴浦町 （ことうらちょう）	66戸	0戸	10/21	漏水を確認（復旧済み）
小計	16,175戸	16,038戸		

【岡山県】 真庭市 (まにわし)	12戸	0戸	10/21	水源の濁りを確認し、取水中止 管路破損による断水(復旧済み)
小計	12戸	0戸		
計	16,187戸	16,038戸		

※1 配水池出口のバルブ開度の調整や管路破損等による漏水により水圧低下が発生している戸数を含む。

(イ) 応急給水の状況

- ・倉吉市は給水車で対応中。また、米子市、鳥取市、八頭市からの給水車4台及び自衛隊の給水車3台で対応中。
- ・湯梨浜町は給水タンクで対応中。給水車4台の派遣を日本水道協会及び自衛隊に要請中。
- ・北栄町は給水タンクで対応中。給水車5台の派遣を日本水道協会及び自衛隊に要請し、松江市からの給水車2台が派遣中。

(ウ) 応急復旧の状況

- ・倉吉市は漏水調査を実施中。
- ・湯梨浜町は応急復旧工事に着手。

エ 通信関係 (総務省情報：10月22日11:00現在)

	事業者(サービス名)	被害状況等	最大被害数 ※1
1 固定 (注)	NTT 東日本	・被害なし。	・被害なし。
	NTT 西日本	・被害なし。	・被害なし。
	NTT コミュニケーションズ	・被害なし。	・被害なし。
	KDDI	・被害なし。	・被害なし。
	ソフトバンク	・被害なし。	・被害なし。
携帯電話等 (注2)	NTT ドコモ	・被害なし。	・被害なし。
	KDDI (au)	・被害なし。	・被害なし。
	ソフトバンク	【携帯電話】 ・7局(鳥取県：5局、岡山県：2局)が停波。 ※周辺局カバーにより影響なし。 ※同社がカバーする役所周辺のエリアには支障無し。 →復旧済み。 【PHS】 ・復旧済み。	【携帯電話】 ・17局(鳥取県：15局、岡山県：2局)が停波。 ※周辺局カバーにより影響なし。 ※同社がカバーする役所周辺のエリアには支障無し。 【PHS】 ・77局(都道府県の内訳は確認中)が停波。 ※周辺局カバーにより影響なし。
	UQ コミュニケーションズ	・復旧済み。	・10局(都道府県の内訳は確認中)が停波。 ※エリア影響は確認中。
	ワイヤレスティップ ランニング	・復旧済み。	・22局(都道府県の内訳は確認中)が停波。 ※周辺局カバーにより影響なし。

○主な原因は停電及び伝送路断

(注1) 事業者が把握可能な範囲の情報を記載

(注2) 携帯電話等事業者が設置している基地局数は各社で異なり、停波中の基地局数は、サービス影響の規模を直接表すものではない

※1 総務省への報告値の中で最大のもの(被害局数の最大値と県ごとの被害局数の最大値)を記載

オ 放送関係（総務省情報：10月22日11:00現在）
現時点では被害なし

(2) 道 路（国土交通省情報：10月22日9:00現在）

ア 高速道路

- ・高速道路（NEXCO管理分）の通行止めは21日17:00までにすべて解除

イ 補助国道

- ・国道313号 北条湯原道路 北栄IC～北栄南IC（鳥取県北栄町） L=2km
路面亀裂により通行止め

ウ 都道府県道：通行止め5区間

- ・鳥取県：点検完了 落石1、路面変状3、土砂崩落の恐れ1

(3) 交通機関（国土交通省情報：10月22日8:30現在）

ア 鉄道

(ア) 新幹線

- ・山陽新幹線 新大阪駅～厚狭駅間 14:27頃 運転再開
- ・東海道新幹線 豊橋駅～新大阪駅間 14:23頃 運転再開

(イ) 在来線

- ・JR西日本 山陰線 2列車 駅間停車解消
- ・JR西日本 因美線、伯備線 それぞれ1列車 駅間停車解消
- ・JR四国 本四備讃線 3列車 駅間停車解消

イ バス

(ア) 高速バス関係

- ・倉吉市内の道路事情が優れないため、1事業者1路線で運休中。

(イ) 路線バス関係

- ・倉吉市内の道路事情が優れないため、1事業者3路線で運休中。

ウ 空港

- ・点検の結果異常なし

(4) 福祉施設、医療施設等被害状況（厚生労働省情報：10月22日11:00現在）

ア 医療施設

鳥取県倉吉市の5箇所の病院（倉吉病院、清水病院、鳥取県立厚生病院（※）、谷口病院（※）、野島病院）で断水を確認。ただし、現時点で業務に支障無し。

イ 福祉施設

(ア) 高齢者施設

<鳥取県>（物的被害27件、人的被害1件）

- ・北栄町の介護老人保健施設で80～90代の男性3名が転倒等により怪我を負ったが、命に別状はなし。
- ・その他、外壁のヒビ等の軽微な被害の報告27件あり。

<鳥根県、岡山県>

- ・現時点で被害報告なし。

(イ) 児童福祉施設

- <鳥取県> (物的被害 2 件、人的被害なし。)
 - ・建物の一部損壊などの軽微な被害の報告 2 件あり。
- <岡山県> (物的被害 2 件、人的被害なし。)
 - ・建物の一部損壊などの軽微な被害の報告 2 件あり。

(ウ) 救護施設

- <鳥取県> (物的被害 1 件、人的被害なし)
 - ・湯梨浜町の救護施設で風呂場の亀裂などの軽微な被害の報告 1 件あり。

ウ 保健衛生施設

現在情報収集中

エ 人工呼吸器在宅療養患者 (難病関係)

大規模停電が発生した鳥取県において、停電のあった地域在住の対象患者 5 名全員の安全確認済み。(10 月 21 日 17 時 00 分時点)

オ 人工透析施設 (10/21 20:00 現在)

鳥取県倉吉市内の以下の 4 施設について、

- ・谷口病院：(透析可、断水中 (22 日以降は給水により透析可)、入院患者のみ搬送予定)
- ・山本内科医院：(透析不可、患者数 24 名、停電中 (自家発電)、断水中、22 日に患者搬送検討)
- ・野島病院：(透析可、断水中、21 日給水予定、患者搬送不要)
- ・鳥取県厚生病院：(透析不可、貯水タンクに濁り、メーカー一点検後再開)

※谷口病院及び鳥取県立厚生病院の透析患者等 11 名を災害拠点病院等に搬送(21 日)。

鳥取県倉吉市の 1 診療所 (山本内科医院) が断水により診療不可。

カ 医薬品・医療機器等の安定供給

現時点では医薬品・医療機器等の安定供給等に係る被害の報告はなし。

(5) 文教施設関係 (文部科学省情報：10 月 21 日 19:00 現在)

都道府県名	国立学校 施設 (校)	公立学校 施設 (校)	私立学校 施設 (校)	社会教育・体 育、 文化施設等 (施設)	文化財等 (件)	独立行政法 人等 (施設)	計
鳥取県	2	7			4		13
島根県					1		1
岡山県	1	6					7
広島県	1				1		2
計	4	13			6		23
4 県	大学 3 高専 1	小 4 中 2 高 6 特別 1			重文 (建) 2 重文 (美) 1 史跡 2 伝建 1		

- ・主な被害状況：校舎等のガラスの破損、壁等のひび割れ等

(6) 金融機関 (金融庁情報：10 月 21 日 15:00 現在)

- ・一部金融機関の店舗 (地銀 1 店、信金 1 店、証券会社 1 店) において建物ひび割れ等が発生。その他営業店・ATM における停電発生中。

(7) 原子力施設関係 (原子力規制庁情報：10 月 21 日 14:46 現在)

中国電力	○ 1・2 号機定検停止中	松江市：震度 4
------	---------------	----------

島根原子力発電所	○プラントの状態に異常なし。 ○排気筒モニタ、モニタリングポストに異常なし。	
JAEA・人形峠(加工)サイクル施設	○プラントの状態に異常なし。 ○排気筒モニタ、モニタリングポストに異常なし。	岡山県鏡野町： 震度5強 鳥取県三朝町： 震度5強

(8) 郵政関係

現時点では被害なし

(9) 災害廃棄物等関係（環境省情報：10月22日11:00現在）

現在、災害廃棄物の発生状況の詳細、廃棄物処理施設の被害状況について確認中。

(10) 農林水産関係（農林水産省情報：10月22日10:30現在）

ア 農作物等被害

- ・鳥取県湯梨浜町で梨の落果。倉吉市で梨の選果場の窓ガラス破損を確認。

イ 農地・農業用施設被害

- ・鳥取県の国営のダム1箇所では法面の一部崩壊、岡山県の国営のダム1箇所微細なクラックを確認。
- ・ため池1箇所では微細なクラックを確認
- ・鳥取県、岡山県のダム及びため池は引き続き点検を実施中。他府県は点検終了し異常なし。

ウ 林野関係被害

- ・現時点で被害情報なし。
- ・22日（土）、近畿中国森林管理局が鳥取県庁と連携してヘリコプターにより被害状況調査を実施予定。

エ 水産関係被害

- ・鳥取県において水産物荷捌き場1箇所が破損。

5 政府の主な対応

(1) 官邸の対応

- ・10月21日14:10 官邸対策室設置
- ・10月21日14:32 緊急参集チーム協議

(2) 総理指示

- ・以下のとおり総理指示が発せられた。（10月21日14:10）

- 1 早急に被害状況を把握すること
- 2 地方自治体とも緊密に連携し、政府一体となって、被災者の救命・救助等の災害応急対策に全力で取り組むこと
- 3 国民に対し、避難や被害等に関する情報提供を適時的確に行うこと

(3) 関係省庁災害対策会議等の実施

- ・10月21日18:00 関係省庁災害対策会議
- ・10月22日14:00 関係省庁災害対策会議（予定）

(4) 災害救助法の適用

- ・平成28年鳥取県中部地震により、多数の者が生命又は身体に危害を受け、又は受けるおそれが生じていることから、鳥取県は県内3市町に災害救助法の適用を決定

【鳥取県】(適用日:10月21日)

くらよしし どうはく ゆりはまちょう どうはく ほくえいちよう
倉吉市、東伯郡湯梨浜町、東伯郡北栄町

6 各省庁等の対応等

(1) 内閣府の対応等

- ・10月21日14:10 災害対策室設置
- ・10月21日付けで、鳥取県に対し「避難所の生活環境の整備等について(留意事項)」の通知を发出
- ・10月21日付けで、被災県に対し「鳥取県中部を震源とする地震における被災者支援の適切な実施について」の通知を发出

(2) 警察庁の対応等

ア 警察庁

- ・10月21日14:10 警備局長を長とする災害警備本部を設置
- ・10月21日 中国、四国及び九州管区内の広域緊急援助隊(警備部隊)に待機を指示
- ・10月21日～ 官邸等にヘリテレ映像等を配信
- ・10月21日15:10 岡山県警察及び鳥根県警察の広域緊急援助隊(警備部隊)に出動を指示
- ・10月21日17:00 四国及び九州管区内の広域緊急援助隊待機を解除
- ・10月22日12:00 広域緊急援助隊(警備部隊)の任務を解除

イ 鳥取県警察

(ア) 体制

本部長以下500人体制

(イ) 措置

- ・10月21日14:10 本部長を長とする非常災害警備本部を設置
- ・10月22日午後～ 女性警察官特別機動隊(愛称「おしどり隊」)を編成し、避難所の巡回、相談受理、防犯指導等を実施予定)

ウ 警察災害派遣隊

(ア) 体制

延べ1管区1府5県、197人

(イ) 措置

○広域緊急援助隊(警備部隊)

- ・岡山及び鳥根県警察部隊が鳥取県倉吉市に出動(21日)
- ・避難所等での警戒警備を実施(22日)

○広域緊急援助隊(交通部隊)

- ・兵庫県警察部隊が鳥取県倉吉市に出動(21日)

○広域警察航空隊

- ・大阪、兵庫、広島、岡山及び福岡県警察の警察航空機(ヘリ)5機が上空からの情報収集活動を実施(21日～22日)

○機動警察通信隊

- ・中国管区、岡山及び鳥根県情報通信部が出動。ヘリテレ、モバイル等により被災現場の映像伝送を実施(21日～22日)
- 特別自動車警ら隊
 - ・兵庫県警察部隊が鳥取県倉吉氏に出動(21日)

(3) 消 防 庁の対応等

- ・震度5弱以上を観測した鳥取県、岡山県、鳥根県に対し適切な対応及び被害報告について要請するとともに、震度5弱以上を観測した各消防本部に対し直接、被害情報の問い合わせをした。

- 10月21日 14:07 消防庁災害対策本部設置(第3次応急体制)
- 14:11 震度5弱以上を観測した鳥取県、岡山県、鳥根県に対し適切な対応及び被害報告について要請
- 15:30 鳥取県庁に消防庁職員を3名派遣
- 18:00 関係省庁災害対策会議に応急対策室長が出席

【地元消防機関の活動】

被災地では消防機関(消防吏員・消防団員)の人員が救助、救急等の活動を実施

【県内消防応援】

鳥取県：鳥取県内の2消防本部が鳥取中部ふるさと広域連合消防局管内で消防活動支援を実施

【広域航空消防応援等】

鳥取県：

《広域航空消防応援》

2機(兵庫県防災ヘリ、岡山県防災ヘリ)が上空からの情報収集を実施

- 14時35分 鳥取県知事の要請に基づき、消防庁長官から兵庫県知事及び岡山県知事に対し、広域航空消防応援によるヘリコプターの出動を要請(任務：情報収集)

《相互応援》

2機(鳥根県防災ヘリ、徳島県防災ヘリ)が上空からの情報収集を実施

- 14時40分 鳥取県との相互応援協定に基づき、鳥根県防災ヘリコプター出動
- 15時34分 鳥取県との相互応援協定に基づき、徳島県防災ヘリコプター出動

(4) 海上保安庁の対応等

ア 地震発生時の初動措置(10月21日)

- ・14:07頃 地震発生。巡視船艇・航空機に発動指示、鳥取港への入港自粛勧告実施
- ・14:10 海上保安庁対策本部設置、第八管区地震災害対策本部設置
- ・14:14 NAVTEX航行警報発出
- ・14:15 日本航行警報発出
- ・14:18 AIS(船舶自動識別装置)による情報発出
- ・14:20 海の安全情報(沿岸域情報提供システム)発出
- ・16:45 鳥取港への入港自粛勧告解除

イ 対応勢力

- ・巡視船艇・航空機の即応体制を維持

【のべ対応勢力】

巡視船艇：10隻

航空機：4機（固定翼1機、回転翼3機）

ウ 対応状況

- ・沿岸調査実施するも被害情報なし
- ・航行警報等発出済み
- ・鳥取県、鳥取市、倉吉市、湯梨浜町にリエゾン派遣中”

(5) 防 衛 省の対応等

ア 被害情報

○鳥取県中部を震源とする震度6弱の地震に係る災害派遣要請

(1) 要請日時 平成28年10月21日(金) 19時22分

(2) 要請元 鳥取県知事

(3) 要請先 陸上自衛隊第8普通科連隊長(米子)

(4) 要請の概要 給水支援

(5) 発生場所 鳥取県倉吉市

(6) 派遣部隊 陸自 第8普通科連隊(米子)、第13特科隊(日本原)、第13戦車中隊(日本原)、第13旅団司令部(海田市)、第13飛行隊(防府)、中部方面航空隊(八尾)、自衛隊鳥取地方協力本部、自衛隊岡山地方協力本部、自衛隊島根地方協力本部

海自 第23航空隊(舞鶴)、第24航空隊(小松島)、第81航空隊(岩国)

空自 第8航空団(築城)、小松救難隊(小松)、第3輸送航空隊(美保)

(7) 派遣規模 人員 延べ約145名

車両 延べ約35両(水トレーラー延べ3両含む)

その他 LO人員延べ12名、LO車両6両

(8) 活動内容 倉吉市内にて給水支援を実施。

○給水実績 21日：0.9t(1箇所)

イ 本日(10/22)の部隊等の活動状況及び態勢

- ・倉吉市内2箇所において、給水支援を実施中
- ・以下の部隊において情報収集態勢等を強化中
 - 陸上自衛隊 中部方面総監部(兵庫県伊丹市)及び隷下部隊(2箇所)
中部方面航空隊(大阪府八尾市)
 - 海上自衛隊 呉地方隊(広島県呉市)
 - 航空自衛隊 航空総隊司令部(東京都福生市)

ウ リエゾンの派遣状況

鳥取県庁、鳥取県倉吉市中部総合事務所、岡山県庁、鳥取県西部総合事務所

(6) 金 融 庁の対応等

- ・10月21日 金融庁情報連絡室を設置。

- ・鳥取県内の関係金融機関等に対し、中国財務局鳥取財務事務所長及び日本銀行松江支店長の連名により、「平成 28 年鳥取県中部地震にかかる災害に対する金融上の措置について」を発出し、預金の払戻時の柔軟な取扱い等、被災者の便宜を考慮した適時的確な措置を講じるよう要請。

(7) 総務省の対応等

- ・10月21日(金)14時7分、総務省災害対策本部（本部長:大臣官房長）を設置。
- ・10月21日(金)14時10分、中国総合通信局において非常災害対策本部を設置。

(8) 法務省の対応等

- ・10月21日(金)14時7分、災害情報連絡室設置を設置。

(9) 文部科学省の対応等

＜文部科学省＞

- ・文部科学省災害情報連絡室（室長：施設企画課長）を設置（10月21日14時09分）。
- ・鳥取県、岡山県、島根県教育委員会に対し、児童生徒等の安全確保と文教施設の被害状況の把握、二次災害防止を要請（10月21日14時20分）
- ・鳥取県中部を震源とする地震に係る関係省庁災害対策会議に文教施設企画部施設企画課防災推進室担当官が出席（10月21日）
- ・地震調査研究推進本部地震調査委員会臨時会を開催し、平成28年10月21日に発生した鳥取県中部を震源とする地震について評価を実施する予定（10月22日15時～）

＜国立研究開発法人 防災科学技術研究所＞

- ・ウェブサイトにはポータルサイト（クライシスレスポンスサイト）を開設（10月21日）
- ・リアルタイム地震被害推定システム（暫定版）により建物全壊棟数分布の推定を実施（10月21日）

(10) 農林水産省の対応等

- ・鳥取県中部で発生した地震に対する備えと被害報告等について、水産庁より通知を发出。（10月21日）
- ・鳥取県を中心とした地震による農作物等の被害に係る迅速かつ適切な損害評価の実施、共済金の早期支払等について、経営局より通知を发出。（10月21日）
- ・鳥取県を中心とした地震による農地・農業水利施設等への被害に係る技術指導の徹底について、生産局、農村振興局及び政策統括官より通知を发出。（10月21日）

(11) 厚生労働省の対応等

- ・10月21日(金)14時30分 厚生労働省災害情報連絡室設置

(12) 経済産業省の対応等

- ・経済産業省 災害連絡室設置（14：10）
- ・経済産業省 非常災害対策本部設置（15：30頃 第1回開催）

(13) 国土交通省の対応等

- ・10月21日15：30に大臣出席のもと、第1回鳥取県中部を震源とする地震に関する災害対策本部会議を実施

- ・災害対策本部会議において大臣から今後の対応について指示
- ・国土交通省として引き続き被害情報の収集・把握に努める
- ・余震の影響も含め、所管施設等について点検を実施中
- ・中国地整、中国運輸局は1県4市町ヘリエゾンを派遣し、被害情報の収集、災害対策用機械の派遣調整等を実施(10/21～)
- ・中国地整は、ヘリによる被害概況調査を実施中(10/21～)
- ・中国地整の TEC-FORCE が、河川、道路、砂防、港湾施設、建築物の被災状況調査を実施(10/21～)
- ・中国地整は、倉吉市庁舎の損傷箇所監視のため照明車1台を派遣(10/21～)
- ・中国地整は、被災自治体等に土のう袋9,000枚、ロープ800m、ブルーシート430枚を提供(10/21)
- リエゾン(情報連絡員)派遣【1県4市町へ14人派遣(10/22)】
- TEC-FORCE等の派遣【のべ41人・日派遣(10/21～)】
- 災害対策用機械等出動状況(10月22日 09:00現在)
- ・中国地整より、照明車1台、待機支援車1台、衛星通信装置1台を計3台派遣

(14) 環境省の対応等

- ・10月21日 「災害廃棄物の処理等に係る補助制度の円滑な活用」について被災自治体に事務連絡を发出
「災害廃棄物の処理に係る仮置場の確保と災害廃棄物の分別の徹底」について被災自治体に事務連絡を发出
- ・10月22日 近畿地方環境事務所職員2名及び災害廃棄物処理支援ネットワーク(D.Waste-Net)の専門家1名を現地(倉吉市等)に派遣し、仮置場の設置・管理など、災害廃棄物に関する技術的助言・支援を実施(23日まで予定)

(15) 気象庁の対応等

- ・10月21日 14:07 気象庁本庁非常体制
- ・10月21日 15:40 記者会見
- ・10月21日 18:00 揺れの大きかった地域について土砂災害警戒情報、大雨警報・注意報発表基準の暫定的な運用を開始
- ・10月22日 鳥取県内で震度6弱～5強が観測された地域を中心に、震度観測点の状況確認等のため、鳥取地方气象台、広島地方气象台及び松江地方气象台からなる気象庁機動調査班(JMA-MOT)を派遣
- ・10月22日 10:00 報道発表

(16) 国土地理院の対応等

- ・電子基準点が捉えた地殻変動についてホームページで公開(10/21)。
- ・くにかぜⅢにより、倉吉市周辺の空中写真撮影を実施中(10/22)。
- ・国土地理院ランドバード(GSI-LB)を、UAV(ドローン)による被災状況調査のため倉吉市方面に派遣(10/22)。

7 地方公共団体の災害対策本部等の設置状況

【鳥取県】 10月21日14時07分 災害対策本部設置

※倉吉市役所が鳥取県中部総合事務所に災害対策本部を設置（ガラス片等散乱により庁舎が使用できないため）

【島根県】 10月21日14時07分 災害警戒本部設置

【岡山県】 10月21日14時20分 災害対策本部設置